

祝辞（大栄中学校卒業式）

14年前の今日、午後2時46分、東日本大震災が発生し、多くの方が犠牲になりました。お亡くなりになった方へご冥福をお祈りいたしますとともに1日でも早い、復旧・復興を願っています。

卒業生の皆さん　ご卒業おめでとうございます。

みなさんの3年間の中学校生活はどうだったでしょうか。大きな期待を持って、入学されたと思いますが、新型コロナウイルスの影響が続いていた年にこの中学校に入学され、3年が経ちました。日常生活だけでなく学校生活も、イベントの縮小や中止など思い通りにならなかったりで、我慢する場面が多かったと思います。しかしながら、このことで忍耐力やどうしたら楽しく過ごせるかなど考える力もついたと思います。このことは、今後の人生に必ず生きてきます。

また、学校の中だけの学習ばかりでなく、地域のこと、町のことにも研究されました。

「中学生と町長がまちづくりを語る会」では、“街灯やカーブミラーの設置”や“空家を活用した地域の活性化”など中学生の目線での意見・提案をいただき、町の活性化の参考にさせていただきました。真剣に北栄町のことを考えていただき、とても、頼もしく思えました。北栄町の未来は、明るいと思いました。これからも町の発展のために気づいたことがあれば、意見等お願いしたいと思います。台湾にも行き、国際交

流を深められ、良い経験をされたと思います。

先月には、北栄町スポーツ表彰式を開催しましたが、いろいろな種目で好成績をあげられ、多くの皆さんを表彰することができました。また、児童生徒表彰でも日頃の活動が素晴らしいということで表彰させていただきました。どうぞこの受賞を励みにさらに高みを目指して、頑張ってくださいと思います。

さて、本日をもって、皆さんは義務教育を卒業されます。ここから先は、自分自身の「意思」や「判断」がより尊重されるようになります。これまではどちらかと言えば、一本の敷かれたレールを歩いてきたと思いますが、これからは何本もある道を自分自身で選択し、自らの人生を切り拓いて、歩いて行かなくてはなりません。その時に、迷うことがあると思います。そんな時は、まずは自分で考えて、それでもわからないときは、いつまでも自分一人で悩まず、先生や友達、そして何よりご家族に相談してください。良い解決策が得られると思います。

北栄町は、ますます賑やかになってきます。道の駅ほうじょうが令和7年4月にリニューアルオープンします。令和8年度には、山陰道北条道路が開通します。青山剛昌ふるさと館は、令和9年に新築予定です。今より、もっと多くの方が北栄町を訪れるようになります。ですので、これから将来、町外、県外、あるいは外国に出ていく

ことがあるかもしれませんが、この大栄中学校で学んだこと、北栄町のことを忘れず、知識や経験を身に着け、いつかは、この地にもどってきて、北栄町の発展のために力を貸してほしいと思います。

保護者の皆さまにおかれましては、小学校の卒業の時とはまた一段と立派に成長されたお子さんの姿を前に感激もひとしおのことと心よりお喜び申し上げます。今後もしっかり向き合って、家族として・人生の良き先輩として、アドバイスをいただきますよう、よろしくお願いします。

また、校長先生をはじめ、熱心にご指導いただきました先生方のご苦勞に対し、敬意と感謝の意を表しますとともに今後もあたたかく見守っていただきたいと思います。

卒業生の皆さんの健やかな成長と光輝く前途を祝し、また来週には良い知らせが届くことを願い、お祝いのことばとさせていただきます。

令和7年3月11日

北栄町長 手嶋俊樹